

足摺宇和海国立公園の公園計画の変更に関するパブリック・コメントの実施結果

番号	ご 意 見	件数	対 応 方 針
第2種特別地域からの第1種特別地域への格上げに関するご意見			
1	アカウミガメに対する公園計画の変更に賛成する。	2	ご賛同いただいたことを念頭におき、適切に取り組んでまいります。
2	大岐海岸でも乗入れ規制は計画されているのか。	1	大岐海岸は、車両乗り入れ口が限られていること、地元パトロールも継続して行われていることから、乗り入れによる影響は見られず、現在のところ自然公園法による規制は計画しておりません。今後も引き続き情報収集に努めてまいります。なお、大岐海岸は高知県うみがめ保護条例によって、時期に応じて車両乗り入れが規制されています。
3	海水浴者用の施設が素晴らしく、また、地元のキャンプ利用者へのマナー向上の呼びかけも徹底している。	1	今後とも適切な保全、管理に努めてまいります。
4	砂浜への車の乗り入れの規制を強化するとともに、以前から禁止をしていたジェットスキーの乗り入れも引き続き規制すべき。	1	大岐海岸は、高知県条例によって車の乗り入れに関する規制が十分に図られていると考えておりますが、今後も引き続き情報収集に努めてまいります。また、ジェットスキー利用についても、規制の必要性等について関係機関と連絡、協議してまいります。
5	大岐の浜は海水浴場には指定されていないが、家族連れの遊泳者やサーファーが非常に多く、地域の活性化につながっている。時々砂浜の清掃をサーファーや地元の人たちが行っているが、台風後の漂着物などの清掃に対しては、昇格を機に清掃予算の増設も必要ではないか。	1	漂着物の清掃については、関係自治体等とも協議しながら、検討してまいります。

海中公園地区の拡張に関するご意見			
1	海中公園地区の拡張をうれしく思う。拡張地区はサンゴの種類も多く、特に枝状サンゴ(スギノキミドリイシ)が広く分布しており、これらを守るために保護区域としてオニヒトデやヒメシロレイシガイダマシの繁殖を抑えることは有益である。また、当海中は水深が2m位から13m位まであり、シュノーケリングからダイビングに適した地区である。	2	オニヒトデやヒメシロレイシガイダマシ等のサンゴ食害生物については、生息状況等についてモニタリングを行い、必要に応じた駆除の実施等、地元関係者等と協力して適切に対応してまいります。また拡張海域は、シュノーケリングに適した水深の浅い海域にサンゴが分布しているため、地元小中学校等の環境教育への利用等も積極的に推進してまいります。
2	隣接する爪白キャンプ場にはシャワー室とトイレ室が完備されているが、今後は利用者も増えると思うので、増設を希望する。	1	中国四国地方環境事務所では、国立公園内で整備が必要な施設を把握するため、利用状況等の調査を行っています。その結果を踏まえ、適切に対応してまいります。
植生復元施設の追加に関するご意見			
1	ツツジがネットで囲われ、ワイヤーで引っ張られて地面は藁で覆われている姿に非常に違和感を感じたが、ツツジを守るためにはしかたがないと理解した。早く笹を復元し、鹿の適正な管理を行って、人工構造物のないアケボノツツジのすばらしい群落の再生を楽しみにしている。	2	アケボノツツジ群落は、岩が多く土壌部分が少ない地形で、強風が吹き付ける場所に生育しています。衰退状況の調査、試験施工等の結果を踏まえ、母樹の保護のためワイヤー支柱工を施工いたしました。ササの減少も、シカによる食害が原因であると推定されたので、防鹿柵の設置を行っていきます。また、地元自治体等と協議・協力しながら、後継樹育成のため苗の育成等にも取り組んで、群落を再生してまいります。
2	篠山山頂周辺におけるアケボノツツジ群落の植生保護策として、害獣共存を指向してシカの食用のための下草や苔の木元への植付け等により、なるべくワイヤ等の金属や人工物に頼らない方策をご検討願いたい。	1	
3	大規模林道から篠山へのアクセス道路が狭く離合に大変苦労した。待避所の整備を早急をお願いしたい。	1	国立公園利用上のご意見として、関係機関と連絡調整を図ってまいります。
4	笹山山頂付近にトイレを整備して欲しい。	1	中国四国地方環境事務所では、国立公園内で整備が必要な施設を把握するため、利用状況等の調査を行っています。その結果を踏まえ、適切に対応してまいります。

自然再生施設の追加に関するご意見			
1	本地域におけるサンゴ礁への取り組みに賛成する。	2	今後とも、海中公園地区の適切な保全・管理及び竜串自然再生事業の推進に努めてまいります。
2	竜串湾で生じている大量の土砂流入堆積に対する自然再生施設とは、具体的にどのようなものか。もし河川改修や河川敷整備、護岸工事等を考えているようなら、生態系への影響も検討、考慮して欲しい。	1	竜串自然再生における具体的な取り組みについては、今後調整会議等で検討していくこととなりますが、当面、海底に堆積した土砂のしゅんせつ等が考えられます。その他、森林、河川、海岸等で工事等が計画される際には、生態系に充分配慮されたものとなるよう、関係機関等と連絡・調整してまいります。